

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

早稲田大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

世界益とともに地球益を追求し、国際舞台で活躍できるコスモポリタン。

【構想の概要】

早稲田大学とASEANの主要6大学(マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学)が提携してコンソーシアを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を開設する。

■ 交流プログラムの質の保証

・ 学習計画

事前学習→留学→共同ゼミの3つのフェーズを展開し、少人数の環境でインタラクティブな授業を実施する。

・ 組織

①カリキュラム委員会②プログラム委員会③合同教職員会議④外部評価委員会の4つの委員会により運営。

■ 交流プログラムの内容

主なカリキュラム

◆ 専門科目

社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、文明論、都市論、カルチュラル・スタディーズ、比較宗教学、環境論、国際ビジネス、経済学等

◆ 言語科目

日本語、フィリピン語、インドネシア語、マレー語、タイ語

◆ 共同ゼミ

多言語、多文化、国際ビジネス、経済学に関するチームティーチングによるゼミ

(早稲田大学)



専門分野

言語・文化、国際ビジネス、経済学

(ASEANパートナー校)



専門分野

マレーシア: 言語・文化、国際ビジネス
 インドネシア: 言語・文化、国際ビジネス
 タイ: 言語・文化、経済学
 フィリピン: 国際ビジネス、言語文化、経済学
 ブルネイ: 言語・文化、国際ビジネス、経済学

主な取組

◆ 付加価値プログラム

タンデム(早大生と相手大学学生との相互交流活動)
 フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア

◆ AIMS7学生会議

参加学生による成果発表と討議&ポスターセッション

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H25は実績、H26以降は申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	4	4	9	—	4	4	4	4	8	—	5	4	4	4	9	—	4	4	4	4	8	—	4	5
学生の受入	0						—						25						25						25					

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備 (受入)

・国際教養学部教職員及び助手による留学全般のサポート(英語)・留学センターによる在留資格管理・アカデミックメンターによるアドバイジング・グローバルネットワークセンターによるインターンシップサポート・ボランティアセンターによるボランティアサポート・国際コミュニティーセンター及び保健センターによる生活支援。

(派遣)

・国際教養学部教職員及び助手による留学全般のサポート(英語)・留学準備講座による情報提供と意識付け・事前学習によるASEAN地域の理解促進と言語能力の向上・グローバルネットワークセンターによるインターンシップサポート・ライティングセンターによる英文作成指導・シンガポール及びタイの海外拠点を通じた危機管理サポート。

